

高知近代史研究会第122回研究会



参加無料
申込不要
オンライン同時配信

令和7年6月21日 土 14:00~17:00

高知市立自由民権記念館 1階 民権ホール
高知市棧橋通四丁目14-3 無料駐車場有

この度、高知近代史研究会と高知市立自由民権記念館では、早稲田大学台湾研究所と共催し、高知と台湾の歴史的接点を考えるフォーラムを開催します。多くのみなさまの御参加をお待ちしています。



板垣退助 訪台時の集合写真

主催 高知近代史研究会、早稲田大学台湾研究所、高知市立自由民権記念館

お問合せ 高知近代史研究会事務局 [Email] kc-052000@city.kochi.lg.jp [TEL] 088-832-7277

フォーラム 土佐と臺灣

— 高知と台湾の
接点を探る —

開催趣旨

日時：令和7（2025）年6月21日（土）14時～17時
会場：高知市立自由民権記念館 1階 民権ホール

台湾の産業経済は、日本の統治開始期に基盤が形成され急速に近代化を遂げました。その過程において、樟脳など一次製品の製造技術、交通・流通網の建設整備、銀行・金融業振興など多くの事業分野で高知県出身者が活躍したことがわかっています。

金子直吉（吾川郡出身）の下で多くの高知県民が働いた「鈴木商店」は、台湾での事業で成功し、通商国家日本の形をつくりました。台中で設立された彰化銀行では、坂本素魯哉（南国市出身）らが地元の台湾人名士とともに民間資本を形成、蓄積しました。

また、林献堂が板垣退助（高知市出身）を台湾に招いたことが、日台同化運動や台湾議会設置請願運動に繋がっています。

今回のフォーラムでは、今まで断片的・散逸的に扱われてきた個々の事実を、「土佐と台湾」という視点から総合し全体像を描くことを試みます。高知県民が台湾経済の草創期に関わることになった背景や、多くの足跡を残した経緯を探ることで、高知と台湾の歴史的接点を考えたいと思います。

プログラム ※13：30～13：45 高知近代史研究会 令和7年度総会

14：00 開会挨拶

14：15 基調報告

平川 幸子 氏（早稲田大学台湾研究所客員上級研究員）

「土佐と台湾～つながりの全体的理解に向けて」

14：30 事例研究報告

中村 茂生 氏（高知近代史研究会会長）

「台湾の板垣退助」

今井 章博 氏（高知近代史研究会会員）

「鈴木商店と高知県人、そして台湾」

曽根 脩平 氏（日本遺産中芸ゆずと森林鉄道ガイド会副会長）

「林業技術者堀田蘇弥太の台湾時代」

筒井 秀一 氏（高知市立自由民権記念館館長）

「細川義昌宛書簡にみる台湾巡査任用」

松葉 隼 氏（早稲田大学台湾研究所次席研究員）

「日本統治時代における高知県人：坂本素魯哉を中心に」

柳澤 宏美 氏（高知県立美術館学芸員）

「石川寅治の画業における台湾」

吉尾 寛 氏（高知大学名誉教授）

「高知県漁民の台湾移住について」

16：10 ディスカッション

司会・進行 平川 幸子 氏

コメンテーター 李 為楨 氏（台湾・国立政治大学台湾史研究所副教授）

石原 忠浩 氏（台湾・国立政治大学日本研究プログラム副教授）

17：00 閉会挨拶

オンライン配信について

本フォーラムはオンライン（Zoom）配信を行います。オンラインでの聴講を御希望の方は、右の二次元コードまたはURL（<https://x.gd/WSkvW>）より、フォーラム当日正午までにお申込みください。

